

# 豪金融業界の不正に関する王立委員会の中間報告

- 王立委員会は豪州の銀行・年金・保険業界の不正行為に対する公聴会を踏まえて、9月28日に中間報告を公表。
- 中間報告は、金融機関の過度な利益追求姿勢を批判しつつ、不正行為の是正や規制当局の監視強化を評価。
- 中間報告は、新法制定による規制強化には「既に複雑な規制体系をより複雑化するもの」として否定的な見方を示す。
- 豪州銀行株は中間報告を好感。銀行株への信認が本格的に戻るかは王立委員会の最終報告や経営改善策に注目。

## 王立委員会は金融不正に関する中間報告を公表

豪州政府は、相次ぐ銀行業界の不正発覚を受けて、年金・保険を含む金融業界の不正行為を調査するため2017年12月に王立委員会を設立しました。2018年3月以降、銀行貸出や投資助言、年金、保険など様々な分野に関する公聴会が実施され、9月28日には市場が注目する王立委員会の中間報告が公表されました(図1)。

## 王立委員会は新法制定による規制強化に反対

王立委員会の中間報告では、「公正さの基本原則を犠牲にした金融機関による短期的な利益追求(強欲な姿勢)」が不正行為の背景にあったと指摘され、不正行為に対する規制当局の追求の甘さにも批判がなされました。

もともと、調査が進む過程で、金融機関が不正行為への是正措置(個人顧客への返金や問題の金融商品の廃止、事業部門売却など)を進めてきたことや、規制当局も不正監視を強化していることに対し、王立委員会は「業界構造に変化がみられる」と一定の評価を示しました。

さらに、王立委員会の中間報告では、「金融機関の活動を規制する新たな法律を制定することは、既に複雑な規制体系をより複雑化するもの」と言明され、新法制定による一段の規制強化には否定的な見方が示されました。

## 9月28日の豪州銀行株は中間報告を好感

9月28日の豪州株式市場では、王立委員会の中間報告に新たな勧告が含まれなかったことから、S&P/ASX銀行株指数は前日比+1.6%と好感した反応を示しました。

ただ、銀行株は豪州株全体の上昇傾向に対して依然として大きく出遅れており、銀行株への投資家の信認が本格的に戻るかは、王立委員会の最終報告や銀行セクターの経営改善策の行方が注目されそうです(図2)。

図1: 豪金融業界の不正を調査する王立委員会の活動と今後の予定

2017年12月14日	金融業界の不正を調査する王立委員会の設立
2018年3月13日~23日	第一次公聴会(テーマ:個人顧客向け貸出)
2018年4月16日~27日	第二次公聴会(投資助言)
2018年5月21日~6月1日	第三次公聴会(中小企業向け貸出)
2018年6月25日~29日	第四次公聴会(地方在住者向け金融サービス)
2018年8月6日~17日	第五次公聴会(年金基金)
2018年9月10日~21日	第六次公聴会(保険)
2018年9月28日	王立委員会が中間報告を公表
2019年2月1日まで	王立委員会が最終報告を公表する予定

(出所)王立委員会

図2: 豪州の銀行株の推移



(出所)ブルームバーグ (期間)2015年1月1日~2018年9月28日

(王立委員会の調査についての関連マーケットレター)  
「豪州銀行株の低迷の背景と今後の見通し」(2018年3月30日)

●当資料は、説明資料としてレグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている見解、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。